

# 答 申 書

～常呂自治区内事業の今後のあり方について～

平成25年11月  
常呂まちづくり協議会



平成25年11月25日

北見市長 櫻田真人様

常呂まちづくり協議会  
会長 山内光明

常呂自治区内事業の今後のあり方について（答申）

平成25年9月3日付けで諮問のありました常呂自治区内事業のあり方について、慎重に協議を重ねました結果、別紙のとおり答申いたします。



## ～答申にあたって～

常呂まちづくり協議会は、平成25年9月3日の第2回協議会において、市長から「常呂自治区内事業の今後のあり方について」諮問を受け、北見市の将来像『ひと・まち・自然きらめく オホーツク中核都市 ー安心な活力都市 北見ー』の実現に向け議論を重ねてまいりました。

当協議会では、北見市総合計画やこれまでの実施計画にかかる審議経過等を踏まえながら、今後の「常呂自治区におけるまちづくり」を進めるにあたり、懸案となっている各種事業について議論を行いました。

答申にあたりましては、北見市総合計画の基本構想に掲げられた6つの基本目標ごとに各種懸案事業についての審議を行い、協議会としての意見を総括的に取りまとめたほか、常呂自治区としての今後の事業のあり方や優先度についてまとめました。

議論にあたりましては、現下の厳しい財政状況を認識しながらも、常呂自治区の発展方向について率直な議論を積み重ね、取捨選択を実施した結果、14事業を最優先事業として掲げました。

市長におかれましては、第6次実施計画事業等における常呂自治区に関連する事業を選択するにあたり、このような議論経過をご理解いただくとともに、事業の重要性や緊急性などをご精査のうえ、早期に事業を推進していただきますよう要望いたします。

また、北見市の厳しい財政状況の中、限られた財源で効率的にまちづくりを実現していくため、行財政改革に積極的に取り組んでいただくとともに、本協議会で出された意見等については、今後策定される諸計画や行財政運営の中でご配慮いただくよう希望いたします。

# 常呂自治区内事業の今後のあり方について

～「第6次実施計画」に盛り込むべき事業～

## 基本目標1. 自然と共生する安全・安心のまちづくり

### 《最優先事業》

#### ◎防災行政無線整備事業

常呂自治区は、オホーツク海、サロマ湖に面し、常呂川の最下流域でもあることから、津波や洪水など他の自治区に比べ災害の危険性の高い地域と認識されています。このため平成24年度には、防災対策として市民に対して正確かつスピーディーな情報伝達をするため、同報系防災行政無線の更新整備が実施されました。

しかしながら、対策を講じる行政側の情報伝達の要となる移動系無線の老朽化が著しく、通信システムの適切な運用が懸念される状況にあることから、有事に備え、移動系無線の早期更新整備を求めます。

なお、旧同報系無線については、老朽化した設備機器が多いことから、早期撤去が必要です。

#### ◎常呂町斎場整備事業

常呂町斎場は、建設からすでに34年が経過し、経年劣化や塩害などにより老朽化が進行している施設で、適宜、補修をしながら施設の維持・管理が行われておりますが、火葬炉の耐火物の耐用年数が過ぎている現状にあり、外壁やエントランス部分のモルタルが剥がれ落ちている状況などもあることから、施設の運営に支障を来たさないよう早急かつ計画的な改修整備が必要です。



老朽化が著しい常呂町斎場

斎場のあり方については、現在、市所管部を中心に検討が進められておりますが、常呂まちづくり協議会のこれまでの議論では、距離的なことや冬期間の道路事情、町内会を中心とした葬儀のあり様がくずれるなど懸念する意見が多い状況にあり、今後さらに議論を深めていく必要があります。

#### ◎一般廃棄物処理センター整備事業

常呂町一般廃棄物処理センターは、汚水処理施設、破碎処理施設、ストックヤード、最終処分場の4つの施設で構成されており、常呂自治区全域から年間約1,700トンあまり排出される一般廃棄物を処理する大変重要な施設であります。この中でも破碎処理施設と汚水処理施設は昭和56年度に建設された施設で、建設後32年を経過し、老朽化が著しく、特に破碎処理施設では受入・搬入に係るホッパー、コンベアの傷みが激しく、また、汚水処理施設は屋根の劣化が激しく雨漏りが発生する状況にあります。施設機能の低下・トラブルを避け、適切な運営管理を図るためにも各施設の計画的な修繕が必要です。

また、破碎処理施設のトイシが汲み取り式となっており、公共施設の環境衛生向上のために水洗化が必要です。

### 《優先事業》

#### ○常呂町墓園区画整備事業

常呂町墓園では、823の墓地区画を用意し、安定した供給に努めてきましたが、区画残数が少なくなっており、安定供給に支障を来たさぬよう、新たな区画造成が必要と考えます。

## 基本目標2. 豊かな心と文化を育てるまちづくり

### 《最優先事業》

#### ◎史跡常呂遺跡公園整備事業

史跡常呂遺跡公園整備事業は、オホーツク文化・アイヌ文化期を主体とする常呂川河口遺跡にかかる事業であり、「ところ遺跡の森」とあわせて北海道固有の連続した各文化期の建物などの復元を行うことにより、地域の歴史や文化、自然教育の学習拠点としての整備を目指すもので、引き続き、史跡整備専門委員会をはじめ、国や北海道などの関係機関に対し、積極的に働き掛けを行い、文化財の保護、啓発に努めていく必要があります。

#### ◎常呂遺跡世界文化遺産登録推進事業

常呂遺跡世界文化遺産登録推進事業は、常呂遺跡の学術的価値やその重要性を広く世界に発信し、多くの人々に理解を深めていただくとともに、地域の活性化にもつながる大変重要な事業であります。

世界文化遺産への登録にあたっては、地域住民の関わりと多様な取り組みがその評価を左右する大きな要因になることから、北見市として積極的な推進を図るとともに、関係市町村と連携するなど、オホーツク圏域全体で盛り上げていく取り組みが必要です。

#### ◎常呂小学校屋上フェンス設置事業

常呂自治区の市街地はオホーツク海と常呂川に隣接しており、津波や洪水などの災害対策が大きな課題となっております。

特に津波にあっては、短時間で甚大な被害をもたらすことから、高所への早い避難が最も重要なポイントとなりますが、常呂自治区の市街地には高台がないため、学校などの頑丈な複数階の建物への避難が有効策と考えられます。

市街地では多くの一時避難場所が必要で、常呂小学校も重要な避難場所となりますが、屋上のフェンスが設置されていないため屋上への避難は危険な施設となっており、多くの住民が避難できる安全な避難場所確保のため、屋上フェンスの早期整備が必要です。



## 《優先事業》

- 給食配送車購入（更新）事業
- 常呂町多目的研修センター施設整備事業
- 川沿小学校旧校舎解体事業
- 常呂町スポーツセンター整備事業
- 常呂町健康温水プール整備事業
- 旧常呂町カーリングホール整備事業
- 常呂町野球場バックネット改修事業
- 常呂町屋内多目的競技場整備事業

常呂学校給食センターの給食配送車は、導入から20年を経過しており、塩害による腐食が多々見られるなど老朽化が著しく、また、修繕整備においても部品の供給が難しくなっていることから、学校給食の安定供給、安全な給食配送のために車両の更新が必要と考えます。

川沿小学校の旧校舎は、昭和35年に旧川沿中学校の教室棟として建設された施設で、中学校統合後は川沿小学校の管理棟、現川沿小学校校舎が整備されてからは倉庫等に使用されてきましたが、経年劣化による老朽化が激しく、景観や防犯上の懸念もあることから早期の解体撤去が必要と考えます。

常呂町スポーツセンター、常呂町健康温水プール、常呂町野球場、常呂町屋内多目的競技場の4施設は、市民の健康維持・増進を図るための施設として不可欠な施設であります。それぞれ塩害や経年劣化による老朽化が著しく、施設運営等において支障を来す状況もあることから、計画的な維持補修を行うなど公共施設として適切な対応が求められます。

旧カーリングホールについては、今後の有効活用の検討が必要であるが、適正な施設管理を図るため、環境に影響のあるフロンガスの撤去や機械設備等付随施設の整理等適切な対応が必要と考えます。

また、常呂町多目的研修センターの駐車場は長期にわたる借地となっており、借地料も高額になっていることから、取得に向けて早急に整理されることが望まれます。

### 基本目標3. 支えあい、一人ひとりを大切にするまちづくり

#### 《優先事業》

##### ○福祉バス更新事業

福祉バスは、社会福祉事業に係る公用バスとして広く利用されておりますが、導入から22年が経過しており、塩害等による腐食など老朽化が進んでいる状況にあります。

各自治区の公用バスの状況を踏まえ、安心・安全な福祉バスの運行のために、計画的な更新が必要です。

### 基本目標4. 活力を生み出す産業振興のまちづくり

#### 《最優先事業》

##### ◎常呂地区排水機場施設設備整備事業

常呂自治区内には、湛水被害防止のための施設として4つの排水機場を設置していますが、それぞれ年数が経過しており、ポンプ等設備機器の経年劣化が懸念される状況にあります。

当該施設の機能低下は農業生産において多大な影響を与えることから、各施設の安定した稼働確保ため設備機器の計画的な更新整備が必要です。

##### ◎サロマ湖水質観測装置整備事業

サロマ湖は、基幹漁業であるホタテやカキの生産において極めて重要な漁業基盤ですが、閉鎖性海域であることから気象や海水流動・河川水の流入などにより水質環境の変化が激しく、環境の変化に即応した資源管理の必要性が求められております。

当該事業により水質や餌料環境の状況など養殖作業や操業管理に必要な情報の把握が可能となり、安定した強い生産体制を構築するためにも当該事業の積極的な支援が必要です。

## ◎サロマ湖アマモ分布調査事業

サロマ湖は、漁業の生産基盤として重要な役割を果たしており、永続的な維持保全が求められていますが、さまざまな負荷によりサロマ湖内の環境は悪化していると言われています。

サロマ湖のアマモは、ほっかいえびなど漁業資源の存続に関わる重要な植物ですが、サロマ湖の水質環境の保全にも大きく寄与しており、湖内環境の現状を評価するためには、アマモの分布状況、生育状況の把握が極めて重要であり、サロマ湖の総合的な環境保全を推進するためにも当該事業の積極的な支援が必要です。

## ◎ワッカ原生花園周辺施設整備事業



支柱の改修が急がれるサロマ湖ワッカネイチャーセンター

ワッカ原生花園は北海道遺産にも選定され、多くの観光客が訪れる道東観光における有数の景勝地ですが、オホーツク海とサロマ湖に挟まれた自然環境の厳しい地域であることから、当該ワッカ地区にある各種施設の老朽化が著しく、観光施設として適切な対応を図るとともに、集客に向けた積極的な取り組みが必要です。

ワッカ原生花園のビジター施設として設置されているサロマ湖ワッカネイチャーセンターでは、正面中央の支柱内部が経年劣化により一部空洞化しており、隣接する観光馬車小屋の外壁やワッカの森の公衆トイレの給水施設も老朽化が進んでおります。また、駐車場は各所で歪みが発生し、自然保護管理道路では一部で侵食による損壊が確認されており、適切な措置が必要となっています。

一方で、サロマ湖ワッカネイチャーセンター裏手のアッケシ草群は、魅力ある観光素材であることから、木道を設置し、観光施設としての魅力アップと利用者の利便性の向上を図る必要があります。

## 《優先事業》

- 基幹水利施設ストックマネジメント事業 常呂地区
- 食料供給基盤強化特別対策事業（RPU 事業）
- かんがい排水事業（明きょ排水） 常呂地区
- 畑地帯総合整備（担い手支援） 常呂豊川地区
- 畑地帯総合整備（担い手支援） 常呂福山地区
- 一般農道整備事業（農道保全） 常呂富丘15号
- 常呂地区幹線排水路維持管理事業
- 農地・水保全管理支払交付金事業
- 水産基盤整備事業
- 定置作業保管施設整備事業
- 汚水処理施設整備事業（トウフツ地区）
- ホタテ貝殻利用漁場造成事業
- 製氷施設整備事業
- 荷捌き施設整備事業
- 漁港内車両洗浄施設整備事業
- 漁港内トラックスケール整備事業
- 水産倉庫整備事業
- サロマ湖ワッカネイチャーセンター備品更新事業
- 常呂森林公園整備事業

基幹水利施設ストックマネジメント事業、かんがい排水事業、畑地帯総合整備事業、常呂地区幹線排水路維持管理事業については、常呂自治区内の排水路及び横断管の整備・補修を実施する事業であり、農作業の安全確保や排水機能の改善、湛水被害の解消を図るため、継続的な推進が必要と考えます。

食料供給基盤強化特別対策事業は、総合的な農業生産基盤（区画整理・暗渠排水・客土・土層改良）の整備を実施することで、排水不良等を解消し、農作業の効率化や畑作物の生産性の向上、品質の安定化など農業経営の安定化を図るうえで極めて重要な事業であり、計画的な事業の実施が必要と考えます。

一般農道整備事業（農道保全）は、富丘地区、豊川地区の主要道路である市道15号の改修整備で、大型車両等の通行が多い道路であるため路肩の変形や舗装の損傷が著しく、道路の安全性向上に向けた早期対応が求められています。

農地・水保全管理支払交付金事業は、地域の活動組織が取り組む農地や水路等の維持管理や環境保全に対し支援するものであり、継続的な支援・推進が必要と考えます。

水産基盤整備事業は、主要漁港である常呂漁港を衛生管理型漁港として整備するものであり、北見市の水産業の振興発展を図るためにも極めて重要な事業であり、積極的な推進が必要と考えます。

定置作業保管施設整備事業、水産倉庫整備事業については、高価な漁業資材を適切に管理するための施設であり、整備に向けた支援が必要と考えます。

汚水処理施設整備事業（トウフツ地区）は、養殖漁業に使用する養殖資材の洗浄とその洗浄により排出される汚水を適切に処理するための施設で、地域の環境衛生と隣接するサロマ湖の水質環境の保全を図るうえで重要な事業であり、整備に向けた支援が必要と考えます。

ホタテ貝殻利用漁場造成事業は、ホタテ漁場の環境改善を目的に実施される事業であり、基幹漁業であるホタテの生産性向上のため継続的な実施が必要と考えます。

製氷施設整備事業、荷捌き施設整備事業、漁港内車両洗浄施設整備事業、漁港内トラックスケール整備事業については、衛生管理型漁港として整備されている常呂漁港の整備に伴う施設整備であり、将来を見据えた衛生管理体制の構築に向け積極的な支援が必要と考えます。

サロマ湖ワッカネイチャーセンター備品更新事業は、ワッカ原生花園を訪れる観光客等が利用する貸自転車の更新整備であり、利用者の安全性・快適性を図るうえで計画的な更新が必要と考えます。

常呂森林公園整備事業は、老朽化の著しいアスレチック遊具、林間歩道連絡橋、東屋の解体撤去とパークゴルフ関連施設の改修整備で、施設の安全性と利用者の利便性向上を図るため適切な対応が必要と考えます。

## 基本目標5. 住む喜びを実感できる生活優先のまちづくり

### 《最優先事業》

#### ◎市営住宅建替事業（常呂）

常呂自治区内には、73棟348戸の市営住宅が建設されていますが、そのうちの64棟262戸が築後25年を経過した老朽化の著しい住宅となっていることから、今後の需要動向や利用者のニーズを考慮するとともに、北見市住宅マスタープラン及び北見市公営住宅等長寿命化計画に基づき、適切に整備・改修されることが求められます。

（仮称）中央団地の建設は、平成19年12月から閉鎖されている旧国民健康保険常呂病院跡地に弁天・東浜団地を集約するもので、市街地の町並み整備と未利用地の有効活用、公営住宅利用者の利便性向上など、常呂自治区のまちづくりにとって大変重要な事業になると考えます。

また、公営住宅を整備することで旧施設の解体撤去なども補助事業での対応が見込まれ、財政的な面においても大変有利であり、積極的な展開が望まれます。

また、西町第2団地は、跡地利用の課題は残りますが、長く政策空き家として管理されているものの、防犯上や景観上において懸念される建物となっているため、早期の解体撤去が必要です。



防犯上や景観上の懸念となっている西町第2団地

#### ◎朝日橋撤去事業（常呂）

朝日橋は、豊浜・弁天方面と市街地を結ぶ主要ルートとして昭和39年に架設された橋梁であります。現在は老朽化により使用できない施設となっていることから、地権者である国から撤去を求められており、河川増水時の二次的災害の懸念や景観等周辺環境の改善を図るためにも、早期に対応する必要があります。

## 《優先事業》

- 常呂町川東線道路整備事業（常呂）
- 常呂町北進町2号線道路整備事業（常呂）
- 栄浦地区道路整備事業（常呂）
- 常呂町3号線道路整備事業（常呂）
- 常呂町北進町3号線道路整備事業（常呂）
- オーバーレイ事業
- 普通財産建物解体事業（常呂自治区）
- 市営住宅改修改善事業（常呂）
- 常呂地区特定環境保全公共下水道事業（污水管渠）
- 常呂地区特定環境保全公共下水道事業（雨水管渠）
- 常呂終末処理場整備事業
- 栄浦終末処理場漁業集落環境整備排水事業
- 送配水施設整備事業（簡易水道）
- 社会資本整備総合交付金（建設機械更新事業：常呂）

各道路整備事業やオーバーレイ事業は、道路管理の効率化や市民生活に直接かかわる生活道路の整備、安全な道路環境を維持するための事業であり、計画的な整備・推進が必要と考えます。

特に、川東線道路など児童生徒の通学路線については、歩道や街路灯の整備など安全・安心な道路としての整備が必要と考えます。

普通財産建物解体事業は、市が普通財産として所有する老朽化住宅の解体撤去事業であり、地域の安全性や周辺の衛生環境を考慮し、早期に対応されることが望まれます。

市営住宅改修改善事業は、市営住宅の長寿命化及び居住性向上を図るための事業であり、北見市住宅マスタープラン及び北見市公営住宅等長寿命化計画に基づき整備されるものですが、改築にあたっては、災害に強い街づくりの観点から市営住宅のあり方について、検討する必要があると考えます。

また、市営住宅の利活用については、各自治区における利用状況や地域のニーズを考慮し、有効的に活用できるよう検討されることが望まれます。

特定環境公共下水道事業、常呂・栄浦終末処理場整備事業、送配水施設整備事業は、安全な水道水の安定供給や排水処理施設の整備による生活環境の改善、浸水被害の防止など極めて重要な事業であり、中長期的な視点に立った計画的な事業の推進が必要と考えます。

社会資本整備総合交付金事業（建設機械更新事業）については、冬季除雪作業のための車両の更新であり、安全な道路環境を維持するために計画的な整備更新が必要と考えます。

## 基本目標6. 市民とつくる信頼と協働のまちづくり

### 《最優先事業》

#### ◎住民センター修繕計画事業（常呂自治区）

常呂自治区内には5つの住民センターがありますが、どの施設も設置から20年以上を経過し、経年劣化による老朽化が著しく、そのうち3施設については、トイレが汲み取り式となっております。

各施設では、町内会活動や老人クラブの活動拠点として利用されており、また、災害発生時には避難所になる施設であることから、トイレの水洗化等、施設機能の維持・向上に向けて適切に整備されることが必要です。

#### ◎地域会館維持改修事業（常呂自治区）

当該事業は、常呂漁業協同組合が所有する漁村センターと栄浦地区多目的研修センターの改修事業ですが、両施設とも地域会館として利用されているほか、漁村センターは比較的規模の大きい施設であることから葬儀会場としての稼働も多い施設となっております。また、災害発生時には避難所になる施設でもあることから、施設機能の維持・向上を図るために改修に向けた支援が必要です。

### 《優先事業》

#### ○常呂まちづくりパワー支援事業

まちづくりパワー支援事業は、自治区住民が自ら考え、自ら実践するまちづくり活動を支援する事業で、地域住民の市民協働、まちづくりへの参加を進めていくうえで、大変効果の高い事業であり、引き続き、推進されることが望まれます。



## 常呂自治区懸案事業一覧

### 1. 自然と共生する安全・安心のまちづくり

#### 《防災の強化》

1	防災行政無線整備事業	既存施設解体撤去（同報系）、実施設計・無線工事施工（移動系）
---	------------	--------------------------------

#### 《地球環境保全と循環型社会の構築》

2	一般廃棄物処理センター整備事業	トイレ水洗化、コンベア修繕、屋根修繕、アンダーガード修繕、減速機更新
3	常呂町斎場整備事業	火葬炉補修、エントランス外壁修繕

#### 《快適な生活空間の整備》

4	常呂町墓园区画整備事業	墓园区画造成工事(28区画程度)
---	-------------	------------------

### 2. 豊かな心と文化を育てるまちづくり

#### 《健康教育の推進》

5	給食配送車購入（更新）事業	給食配送車の購入（更新）
---	---------------	--------------

#### 《生涯学習の充実》

6	常呂町多目的研修センター施設整備事業	駐車場用地の購入
---	--------------------	----------

#### 《小・中学校教育の充実》

7	川沿小学校旧校舎解体事業	旧校舎解体
8	常呂小学校屋上フェンス設置事業	屋上フェンス設置

《生涯スポーツ活動の振興》

9	常呂町スポーツセンター整備事業	トレーニングルーム機器更新、耐震診断・現況調査事業、多目的トイレ設置
10	常呂町健康温水プール整備事業	機械設備修繕、ウッドデッキ改修、逆洗浄弁修繕
11	旧常呂町カーリングホール整備事業	フロンガス・機械設備撤去、地下タンク閉鎖、施設整備
12	常呂町野球場バックネット改修事業	バックネット改修
13	常呂町屋内多目的競技場整備事業	雨漏り防止屋根改修、砂入替

《文化財の保護・継承》

14	史跡常呂遺跡公園整備事業	史跡整備専門委員会議、史跡土地購入、整備事業着手
15	常呂遺跡世界文化遺産登録推進事業	発掘調査、有識者検討会議、パンフレット作成、特別展開催、解説資料集発刊

### 3. 支えあい、一人ひとりを大切にすまちづくり

《地域福祉活動の促進》

16	福祉バス更新事業	福祉バス購入（1台）
----	----------	------------

### 4. 活力を生み出す産業振興のまちづくり

《地域特性を活かした農業の振興》

17	基幹水利施設ストックマネジメント事業 常呂地区	明渠排水路補修整備、附帯工
18	食料供給基盤強化特別対策事業 (RPU 事業)	区画整理、暗渠排水、客土、土層改良
19	かんがい排水事業（明きょ排水）常呂地区	排水路整備
20	畑地帯総合整備（担い手支援）常呂豊川地区	横断管改修、附帯工
21	畑地帯総合整備（担い手支援）常呂福山地区	横断管改修

22	一般農道整備事業（農道保全） 常呂富丘15号	実施設計、改良工事
23	常呂地区排水機場施設設備整備事業	排水機場設備機器等の修繕
24	常呂地区幹線排水路維持管理事業	幹線排水路土砂上げ
25	農地・水保全管理支払交付金事業	営農環境保全活動団体助成

#### 《国際競争に強い水産業の推進》

26	水産基盤整備事業	外郭施設・係留施設・輸送施設・漁港浄化施設、施設用地の整備に係る地元負担金
27	定置作業保管施設整備事業	定置作業保管施設整 1 棟 （補助金）
28	汚水処理施設整備事業（トウフツ地区）	養殖資材洗浄施設・汚水処理施設整備 （補助金）
29	ホタテ貝殻利用漁場造成事業	漁場改善 （補助金）
30	サロマ湖水質観測装置整備事業	水質観測装置整備 （補助金）
31	サロマ湖アマモ分布調査事業	アマモ分布調査 （補助金）
32	製氷施設整備事業	製氷施設 1 棟 （補助金）
33	荷捌き施設整備事業	荷捌き施設 1 棟 （補助金）
34	漁港内車両洗浄施設整備事業	漁港内車両洗浄施設 1 棟 （補助金）
35	漁港内トラックスケール整備事業	トラックスケール 1 棟 （補助金）
36	水産倉庫整備事業	水産倉庫 1 棟 （補助金）

#### 《活気ある商業活動の促進》

37	手工芸の館整備事業	屋根・外壁・スロープ改修
----	-----------	--------------

《新たな観光資源の活用》

38	ワッカ原生花園周辺施設整備事業	ネイチャーセンター支柱改修、木道整備、給水設備修繕、観光馬車小屋改修、道路法面改修、駐車場改修
39	サロマ湖ワッカネイチャーセンター備品更新事業	自転車更新、電動自転車購入
40	常呂森林公園整備事業	パークゴルフセンターハウス改修、アスレチック・林間歩道連絡橋・東屋撤去、パークゴルフ場横トイレ整備

5. 住む喜びを実感できる生活優先のまちづくり

《道路網の整備》

41	常呂町川東線道路整備事業（常呂）	道路改良・舗装工事
42	常呂町北進町2号線道路整備事業（常呂）	道路改良・舗装工事
43	栄浦地区道路整備事業（常呂）	測量設計、道路改良工事
44	常呂町3号線道路整備事業（常呂）	測量設計、道路改良工事
45	常呂町北進町3号線道路整備事業（常呂）	測量設計、道路改良・舗装工事
46	オーバーレイ事業（常呂）	岐阜富丘線・6号線・西6線・中央線整備
47	朝日橋撤去事業（常呂）	橋梁撤去工事

《良好な住宅・住環境の創出》

48	普通財産建物解体事業（常呂自治区）	普通財産建物（住宅）解体撤去
49	旧常呂監督員詰所解体事業	監督員詰所解体 1棟
50	市営住宅改善事業（常呂）	市営住宅改修改善工事
51	市営住宅建替事業（常呂）	西町第二団地解体工事、旧国保病院解体工事、用地取得、中央団地建設予定地地盤調査・基本設計・実施設計・造成設計

《水道水の安定供給と下水道の整備》

52	常呂地区特定環境保全公共下水道事業（污水管渠）	公共污水柵設置
53	常呂地区特定環境保全公共下水道事業（雨水管渠）	下水道雨水管整備
54	常呂終末処理場整備事業	非常用発電機新設、水処理・汚泥処理設備更新、耐震実施設計、監視抑制設備更新
55	栄浦終末処理場漁業集落環境整備排水事業	非常用発電機整備及びマンホールポンプ更新の実施設計、更新工事、耐震診断、屋根改修工事
56	送配水施設整備事業（簡易水道）	常呂地区送水管更生工事、配水管布設替実施設計、配水管布設替工事

《除排雪体制の強化》

57	社会資本整備総合交付金（建設機械更新事業：常呂）	除雪グレーダー3.7m級 1台（更新） ショベル 13t 1台（更新）
58	市道維持業務委託事業（夏期：常呂）	福山・日吉地区、栄浦・岐阜一部地区のほか、新たに豊浜・弁天・東浜地区を市道維持業務として委託
59	市道維持業務委託事業（冬期：常呂）	福山・日吉地区、栄浦・岐阜一部地区のほか、新たに豊浜・弁天・東浜地区を車歩道除雪業務として委託

## 6. 市民とつくる信頼と協働のまちづくり

《国際交流・地域間交流の促進》

60	姉妹友好都市交流推進事業（常呂自治区）	常呂高校振興協議会補助金、カナダ・バーヘッド町受入事業、カナダ・バーヘッド町提携25周年記念事業
----	---------------------	--

《住民自治の推進》

61	常呂まちづくりパワー支援事業	自治区独自のまちづくり活動への支援（補助金）
62	住民センター修繕計画事業（常呂自治区）	豊川地域農村環境改善センター改修、富丘地区高齢者コミュニティセンター改修、日吉会館改修
63	地域会館維持改修事業（常呂自治区）	栄浦地区多目的研修センター・漁村センター改修（補助金）

## 【常呂まちづくり協議会における協議経過】

協議回数	開催日	場所	内 容
1	9月 3日(火) 午後6時00分	常 呂 総合支所	諮 問 常呂自治区内事業の今後のあり方について
2	10月22日(火) 午後7時00分	常 呂 総合支所	議 題 常呂自治区内事業の今後のあり方について
3	10月24日(木) 午後6時00分	常 呂 総合支所	議 題 常呂自治区内事業の今後のあり方について
4	11月18日(月) 午後6時00分	常 呂 総合支所	議 題 常呂自治区内事業の今後のあり方について

【常呂まちづくり協議会委員】

【委嘱期間：H24.6.14～H26.6.13】

	氏 名
委 員	嵐 ふみ江
委 員	安 藤 憲 彦
委 員	石 山 茂 実
委 員	稲 田 昌 代
委 員	江 田 哲
委 員	佐 藤 文 彦
委 員	澤 向 佳 恵
○副 会 長	田 淵 正 彰
委 員	敦 賀 信 人
委 員	寺 町 敬 子
委 員	広 瀬 由 里 子
委 員	三 角 和 之
◎会 長	山 内 光 明
委 員	横 山 義 雄
委 員	吉 田 恭

50音順